【学校教育目標】 大浦を愛し 人とつながり 世界につながる
～真剣いっぱい・感動いっぱい・笑顔いっぱいの大浦っ子をめざして～

長崎市立大浦小学校　学校だより　令和８年１０月１６日　№１２

大浦の風

長崎市立大浦小学校
校　長　河内　和人

小体会

今週の水曜日（１４日）、第６４回長崎市小学校体育大会（小体会）が開催されました。長崎市内約３２００人の小学６年生が集い、競技や交流を行った一日でした。

今年で６４回目を数える伝統ある行事ですので、保護者や地域の皆様の中にも、「子どもの時に出場したことがある。」と懐かしまれる方も多いことと思います。（私も、４８年前、陸上の１００m走に出場しました。着順は後ろの方だったとかすかに記憶しています。）

その小体会ですが、昨年度から、全ての競技が雨や暑さに左右されない室内競技に変わりました。大浦小は、以前から継続して残っている「玉入れ」のほか、新種目２年目の「ターゲットボッチャ」「プレルボール」「フットホッケー」に出場しました。

６年生は、１学期末には出場種目を話し合いで決めており、９月の修学旅行後から練習に取り組んできました。昨年度までと同様、すべての職員が練習に関わりましたが、６年生は、先生方に対する感謝の気持ちを、「真剣に練習に取り組む」ことや「チームワークを大切にする」という姿で表現してきました。加えて、自主的に昼休みなどにも練習に励んできました。

本番を翌週に控えた６日（火）には、「小体会選手を励ます会」がありました。５年生を中心に、在校生が本当に心のこもったエールを送ってくれて、大変立派で、とても感動しました。６年生も、『大浦小の代表』という意識が、さらに高まったようでした。

当日は、これまでの練習の成果を全部発揮しようと、どの子も一生懸命にがんばりました。私は、県立体育館で「プレルボール」と「玉入れ」の競技を応援しましたが、競技中の互いを励まし合う声かけや互いに協力し合う動き、全力で競技する真剣さなどを随所で見ることができ、「さすが大浦小の６年生」と内心大満足でした。結果も大切ですが、大会までの練習を通して、仲間と協力し励まし合うことの大切さや目標に向かって努力することのすばらしさなどを経験でき、培われたことと思います。このことが、今後の学校生活に活かされることを確信しています。

それぞれの会場で、保護者の皆様からのたくさんの応援をいただいたと聞いております。保護者の皆様の後押しのおかげで、子どもたちは、自分の持てる力を存分に発揮できたと思います。本当にありがとうございました。

競技の結果は、以下のとおりです。

■ターゲットボッチャ
１試合目　２３対２８　負け
２試合目　２２対１６　勝ち

■玉入れ（満点は各２０個）
１回目　１８個
２回目　１７個
３回目　１２個　　計４７個

■プレルボール
１試合目　１７対１２　勝ち
２試合目　１０対１１　負け

■フットホッケー
１試合目　５３対　９　勝ち
２試合目　３８対３３　勝ち









明日からの土日、「**大浦くんち**」が開催されます。ご家族でお出かけになり、地域の行事に親しむとともに、子どもたちの「大浦を愛する」心をさらに磨いていただければと思います。